

橋梁耐震補強設計研修会（in 大阪）報告（H.27.9.29・30 開催）

技術マネジメント研究所

平成27年10月15日



・技術マネジメント研究所 上野代表の挨拶



・熱心に聴講する研修生



・丁寧に説明される講師

実務実践型の研修会として、防災分野の重要テーマである橋梁耐震補強設計研修会を大阪で2日間実施いたしました。

冒頭、当研究所の上野から研修生に対し、「時代が要請する新たな技術を積極的に習得すること」の重要性（変化への適応）を述べさせていただきました。

今回は当研究所、大阪初の研修会でもあり14名の参加となりました。参加企業は広域にわたり、大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県、三重県、岐阜県、福井県、石川県からご参加いただきました。

講師・研修内容は以下の通りです。

講師：高 龍 部長（新日本技研株式会社 設計部長）

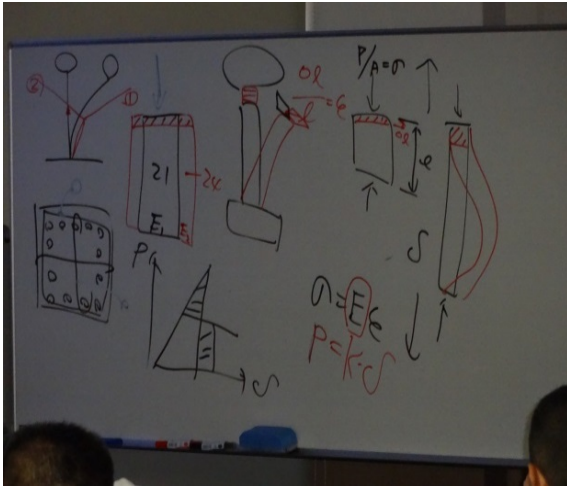
- ・技術士（総合技術監理部門・建設部門：鋼構造およびコンクリート、土質および基礎）
- ・APECエンジニア、コンクリート診断士
- ・平成25年度中国地方整備局 局長業務表彰受賞

研修内容

1. 概説
2. 橋脚の耐震補強設計（静的解析）
3. 動的解析の利用
4. 支承と落橋防止システム
5. 耐震設計演習
6. 特殊橋梁の耐震設計事例
7. 質疑・応答

皆さんから本研修会について、意見・要望をいただきました。その一部をご紹介します。

- ① 一般的な講習会とは違い、より実務に即した内容で大変勉強になった。1日目の講座は内容が濃くて、非常に解り易く充実したプログラムであり、とても満足している。
- ② 保有水平耐力法の計算過程を解り易く説明していただき理解することが出来た。
- ③ 2日間にわたる講習であったが興味深い内容で、あっという間に時間が過ぎてしまった。講習会の内容が理解できるか不安なところもあったが、わかり易い講習で知識が深まった。演習を含んでいただき、より一層理解が深まった。
- ④ 演習時間はもう少し長く欲しいと感じた。今後業務で困ったときはぜひ質問させていただきたいと思う。
- ⑤ 演習は入力データで最も注意しなければならない情報と、入力データと出力結果の動き、影響度を視覚的に体感できる内容であればより



・保有水平耐力の説明



・熱心な演習

「コツ」がつかめる内容になると感じた。

- ⑥ 交流食事会では地元外で業務をされている諸先輩方のご意見も伺えて非常に参考になった。
- ⑦ 今後、同業者間で実務の相談ができる人脈を作るという意味で大変ありがたく感じている。
- ⑧ 今後は動的耐震解析、橋梁補修設計などの研修会を希望します。

研修生の皆様からは、多くの建設的な意見・要望をいただきました。お礼申し上げます。

研修後は実践で研修結果を活かしていただきたいと思います。技術的に困ったことがあれば、遠慮なく講師に尋ねていただくようお願いしました。

講師の新日本技研株式会社 高 龍部長様にはテキストの準備、2 日間の講義ご苦勞をお掛けしました。この場をかりてお礼申し上げます。

皆さん、真剣に研修を受けられたことが印象的でした。必ずや今後の業務に活かされることと思います。

研修会を開催するに当たって県測協の会員様に情報提供いただいた協会様に深く感謝いたします。

以上